

令和7年度 第2回

安城市博物館協議会

令和7年9月25日(木)

午前10時00分～

歴史博物館・講座室

1 人事異動

2 あいさつ

3 協議事項

(1) 令和7年度開催済事業報告

(2) 令和7年度下半期事業計画案

(3) 令和8年度事業計画案

4 その他

(1) 今後の日程

・合同研修

11月6日(水)

豊川市(三河天平の里資料館・三河国分尼寺跡史跡公園)

豊橋市(豊橋市美術博物館)

・第3回

令和8年2月13日(金) 午後2時00分～予定

(2) 購入資料について

(3) 観覧

安城市博物館協議会委員

(任期：令和7年4月1日～令和9年3月31日)

	氏名	選任区分	備考
会長	高山 忠士	学識経験者	
副会長	永井 江美子	社会教育	
委員	奥川 正規	学校教育	
委員	小早川 道子	学識経験者	
委員	曲田 浩和	学識経験者	
委員	内藤 路子	公募委員	

安城市民憲章

わたくしたちは安城市民です。
わたくしたちの愛する安城を、いっそう魅力にみちた
生きがいのあるまちにするため、市民生活の心がまえとして、
この憲章を定めます。

わたくしたちは、

- *たがいに助け合い、住みよいまちをつくりましょう。
- *きまりを守り、良い習慣を育てましょう。
- *自然を愛し、きれいな水とみどりのまちをつくりましょう。
- *教養を高め、若い力を育てましょう。
- *健康で、明るく楽しい家庭をつくりましょう。

—昭和47年11月1日制定—

●安城市民憲章推進協議会●

(1) 令和7年度開催済事業報告

ア 利用状況

(ア) 月別入館者数 ※8月31日までの入館者数

月	展示観覧者						行事参加者	文献資料室 利用者	その他	延べ入館者 合計
	有料		無料		計					
	大人	計	大人 中学生以下	計	大人計 中学生以下計	合計				
4	236	236	712 220	932	948 220	1,168	717	2	442	2,329
5	276	276	2,078 1,019	3,097	2,354 1,019	3,373	1,857	7	473	5,710
6	292	292	1,586 1,568	3,154	1,878 1,568	3,446	1,043	11	494	4,994
7	785	785	567 729	1,296	1,352 729	2,081	931	29	328	3,369
8	2,074	2,074	1,882 1,084	2,966	3,956 1,084	5,040	3,923	19	574	9,556
計	3,663	3,663	6,825 4,620	11,445	10,488 4,620	15,108	8,471	68	2,311	25,958

(イ) 利用形態別入館者数 ※8月31日までの入館者数

月	企画展 観覧者	常設展 観覧者	講演会	歴博講座	体験講座	連続講座	入門講座	自主事業	歴博イベン ト	歴博演芸場	企画展 関連イベント	文献資料 室	その他	延べ利用 者合計
4	784	384	0	0	20	33	0	0	124	0	540	2	442	2,329
5	2,504	869	37	0	373	30	0	59	124	0	1234	7	473	5,710
6	2,270	1,176	0	34	144	0	0	0	20	50	795	11	494	4,994
7	927	1,154	124	0	48	0	0	0	0	0	759	29	328	3,369
8	3,006	2,034	35	30	31	0	0	57	322	340	3108	19	574	9,556
計	9,491	5,617	196	64	616	63	0	116	590	390	6,436	68	2,311	25,958

その他内訳

部屋利用等	979人	職場体験	(延べ) 33人
安祥文化のさとまつり	0人		
博物館実習	(延べ) 48人	多目的利用	1,251人

イ 展示活動

(ア) 常設展展示替え

月 日	変更箇所	内 容
8月7日	第5章 百姓の世界 (安城の近世) 海ぞいの道 第9章 町から都市へ 町の暮らし	博物館実習生による展示 実習
9月24日	第4章 東からの風 (安城の中世) 三河真宗の美術 第6章 村の文化 俳諧・狂歌の世界	真宗関連資料展示 俳諧関連資料展示

(イ) 特別展・企画展 ※9月15日までの観覧者数

	区 分	名 称	期 間	目標値	実績値
①	企画展	日本デンマークと呼ばれた時代—100年前の碧海地域と農業—	4月19日 ～6月29日	6,000人	5,558人
②	特別展	空襲に備えよ—総力戦下の家庭防空—	7月13日 ～9月8日	5,000人	3,933人
③	特別展	日本妖怪展	9月13日 ～11月3日	9,300人	1,146人
④	特別展	白山信仰と三河三白山	11月22日 ～1月18日	3,500人	未
⑤	企画展	村中安全—江戸時代の村と人々の営み—	2月7日 ～3月22日	3,000人	未
			合 計	26,800人	10,637人
			参考 (6年度)		16,264人

① 企画展 特別展「日本デンマークと呼ばれた時代—100年前の碧海地域と農業—」

- a 会 期 令和7年4月19日(土)～6月29日(日) 実開館日63日
- b 観覧者数 5,558人【目標6,000人】1日平均88人
- c 期間中の催し物
主なものは「エ 教育普及活動」(P7～)に記載
- d 音声ガイドの利用状況 119人 (利用率2%)
- e パンフレット 1,600冊発行
- f 展示について
 - (a) 展示点数は198点。
 - (b) 今回の展示では、『新編安城市史』の近代編で取り上げられた内容を中心に展示構成を行い、明治用水開通後の碧海台地の農業発展を中心に、日中戦争以降に所謂日本デンマーク農業の特徴が見えなくなる様子を紹介した。展示は3章構成とし、第1章「日本デンマークの前史」では、碧海郡が日本デンマークと呼ばれる前である明治用水開通後の土地改良を中心に展示した。第2章「発展した碧海地域の農業」では農業の発展の要因を事例を挙げて紹介した。第3章では、「日本デンマークと呼ばれて」では、碧海郡が日本デンマークと呼ばれた理由やその後の変化を社会背景と併せて展示をした。
 - (c) 展示を構成する際に、碧海郡一帯が日本デンマークと呼ばれていた事実は確認できるが、日本デンマークそのものの実体があるわけではなく、その評価を再度検討すべきであるという意図も含めようとした。しかし、展示の中では明確に示すにはもうひと工夫が必要だった。
 - (d) 収蔵品の選定ではこれまでの資料整理の成果を利用し、農家の資料や農事試験場の資料などを展示することができた。ここ数年で収集した資料を展示することで、平成9年の日本デンマーク展とは異なる内容を含めることができた。
- g 観覧者について
 - (a) 目標達成率は93%にとどまった。アンケート結果では53%が市内在住者で、今回の展示で地域の歴史に関心を持った層が多く見られた。展示内容をふまえてさらに疑問をもっている内容も見られ、今回の展示で郷土の歴史への関心を呼び起こすことができた。
 - (b) まちかど講座や高齢者教室で日本デンマークについての講座を依頼されたり、高校が見学に来るなど、展示と普及活動の相互効果で日本デンマークへの関心を高めることができた。
 - (c) 展示期間中に寄贈の問い合わせを受ける際も、今回の展示を見て連絡をしたという方も多くいた。展示を通じて地元資料の収集や保存に繋げることができた。
- h PRについて
 - (a) ケーブルテレビや地域のFMラジオなど、西三河地域に特化したメディアからの取材が多かった。

② 特別展「空襲に備えよ—総力戦下の家庭防空—」

a 会 期 令和7年7月 19 日(土)～8月 31 日(日) 実開催日数 40 日

b 観覧者数 3,933 人【目標 5,000 人】1日平均 98 人

c 期間中の催し物

主なものは「エ 教育普及活動」(P7～)に記載

d 音声ガイドの利用状況 221 人 (一般観覧者利用率6%)

e 展示について

(a)展示点数 97 点

(b)市内の発掘調査で見つかった防空壕の良質な記録があったため、そこからヒントを得て戦時下の民間人が空襲に対してどのように備えをしていたのか、に焦点を当てた展示とした。

(c)戦争・空襲関連資料の地域性や個性を深めることができず、空襲被災資料については名古屋空襲の資料を展示するのみとなってしまった。

g 観覧者について

(a)7月末から8月上旬は、観覧者が低迷。

(b)アンケート(288 件)によると、市外在住の 40 代と 50 代および 10 代以下、女性の方がやや多い。初めての来館が 39%であった。10 代以下と女性の組み合わせは、市民ギャラリーで開催されていた展覧会から流れてきた親子、または、勉強のため訪れた親子である。

h PRについて

(a)観覧者が低迷していたため、8月 22 日(金)から 29 日(金)にかけて、各種 SNS で展覧会関連情報を連日投稿。アンケート(288 件)によると、展覧会を知ったきっかけは、HP、広報あんにょうに次いで Instagram の順になった。

ウ 教育普及活動

(ア) 講演会・講座

a 展覧会記念講演会 会場：講座室 午後2時 聴講無料

開催日	演題	講師	聴講者数
5月17日	「日本デンマーク」に込められたもの一人が豊かに生きる場としての農村をつくる	岡田洋司氏 (元愛知学泉大学教授)	37
8月30日	総力戦下の銃後と防空体制	長志珠絵氏 (神戸大学教授)	35
9月13日	妖怪文化の広がり	湯本豪一氏 (湯本豪一記念日本妖怪博物館(三次物の怪ミュージアム)名誉館長)	48

合計 120 人

b 歴博講座・入門講座・連続講座

(a) 歴博講座 会場：講座室 午後2時 聴講無料

開催日	演題	講師	聴講者数
6月7日	日本デンマークの暮らし	本部はる香(本館学芸員)	34
8月2日	遺跡からみた安城の防空	後藤麻里絵(本館学芸員)	35

合計 69 人

(b) 連続講座

「村絵図で巡る安城今むかし」会場：講座室ほか 午後1時30分 資料代1,000円

開催日	演題	講師	聴講者数
4月12日	和泉村	高山忠士氏(本館元館長)	16
4月26日	東端村		17
5月10日	根崎村		16
5月24日	藤井村		14

合計 63 人

(イ) 指定管理 展示関連イベント

開催日	タイトル	関連展示	実施日	参加人数
4月19日～ 6月29日	日本デンマーククイズに挑戦!	企画展「日本デンマークと呼ばれた時代」	63日間	1,328
4月19日～ 6月29日	オリジナルボードゲーム 「 ^{デンマーク} 日本丁抹」で遊ぼう!	同上	同上	257
4月19日～ 6月29日	日本デンマークと呼ばれた時代フォトスポット	同上	同上	810

4月27日	オリジナルボードゲーム 「日本 ^{デンマーク} 丁 抹」体験会	同上	1日間	24
4月27日	昔の民具体験	同上	1日間	30
5月11日	昔の民具体験	同上	1日間	27
5月31日	昔のレシピを再現！ 「日本 ^{デンマーク} 丁 抹うどん」を作ろう！	同上	1日間	26
6月8日	昔の民具体験	同上	1日間	55
6月8日	オリジナルボードゲーム 「日本 ^{デンマーク} 丁 抹」体験会	同上	1日間	12
7月19日～ 8月31日	クイズ！みんなの町を守る大作戦！	特別展「空襲に備えよ」	40日間	446
7月19日～ 8月31日	平和へのメッセージをこめた折り鶴を折ろう！	同上	同上	1,673
7月19日～ 8月2日	平和へのメッセージをこめた折り鶴の絵を描こう！	同上	36日間	469
7月19日～ 8月31日	戦争を知る絵本のひととき	同上	40日間	271
7月19日～ 8月31日	空襲に備えよフォトスポット	同上	同上	840
7月26日	高校生が語り継ぐ戦争体験～明治航空基地と子どもたち～	同上	1日間	15
8月3日	回り灯籠づくり	同上	1日間	10
8月11日				10
8月17日				10
8月9日	大人にも聞いてほしい絵本の読み聞かせ	同上	1日間	62
8月10日	新美南吉作品朗読 作品から知る戦争中のくらしと人々	同上	1日間	53
8月29日	ナイトミュージアム 「空襲に備えよ」夜間展示解説	同上	1日間	8

合計 6,436 人

(ウ) 指定管理 体験講座

開催日	演題	講師	参加人数
4月19日	ミニ鯉のぼり染め体験	渡辺健一郎氏・古川智氏 (ワタナベ鯉のぼり株式会社)	20
5月3日～ 5月5日	鎧の試着会	指定管理者、 博物館ボランティア	373
6月22日	昔の遊び体験	指定管理者	115
6月22日	昔の火おこし体験	指定管理者	29
7月25日～ 7月27日	夏休み自由研究相談会	文化振興課職員	48
8月2日	オリジナル風鈴づくり	指定管理者	31

合計 616 人

(エ) 指定管理 自主事業

開催日	演題	講師	参加人数
5月18日	歴史を楽しく学べるカードゲーム 「Hi!story (ハイスト)」体験会 &自由対戦会	監修：株式会社 Highsto	59
8月16日	本格的な紙甲冑を作って、 「さとまつり」に参加しよう！	指定管理者	3
8月23日			3
8月24日	歴史を楽しく学べるカードゲーム 「Hi!story (ハイスト)」体験会 &自由対戦会	監修：株式会社 Highsto	51

合計 116 人

(オ) 指定管理 歴博演芸場 会場：石舞台・講座室 鑑賞無料

開催日	演題	出演者	参加人数
6月15日	日本デンマークのお座敷文化レクチャーコンサート ～安城芸妓とお座敷唄の会～	出演：安城芸妓衆、 太田明紗日氏(三味線奏者)	50
8月30日	ナイトミュージアム 「安城民謡で盆踊り」	竹友会	190
8月31日	ナイトミュージアム 「和太鼓演奏&盆踊り」	安祥太鼓、三州輪っ鼓	150

合計 390 人

(カ) 指定管理 歴博イベント

開催日	タイトル	参加人数
4月27日～5月24日	安祥文化のさと写生コンテスト ～安祥城址を描こう～	43
4月26日、5月25日	みんなで描こう！写生大会デー	78
4月26日	大きな鯉のぼりに絵を描こう！	71
4月26日	大きな武者絵幟を描こう！	7
5月18日～6月29日	西尾町内会春祭りくじ引きガチャ	45
5月31日～6月29日	古井ふれあいひろばくじ引きガチャ	24
8月29日	ナイトミュージアム「L'eclat チアダンス」	190
※8月29日～8月30日	ナイトミュージアム「マイブククエスト」	(75)
8月30日～8月31日	ナイトミュージアム「博物館ナイトツアー」	84
8月31日	ナイトミュージアム「土器ドキ晩ゴハン」	48

合計 590 人

※埋蔵文化財センターで開催

(キ) 見学学習

a 市内小学校（企画・特別展、常設展、埋文セ）見学

月日	曜	学校名	学年	人数	月日	曜	学校名	学年	人数	
5	21	水	志貴小	6	80	9	16	火	三河安城小	6
6	3	火	二本小	6	115	9	17	水	作野小	6
6	10	火	今池小	6	48	9	18	木	祥南小	6
6	11	水	南部小	6	94	11	6	木	新田小	6
6	12	木	桜井小	6	149	11	11	火	明和小	6
6	17	火	梨里小	6	81	11	12	水	桜林小	6
6	24	火	錦町小	6	85	11	18	火	北部小	6
7	1	火	桜町小	6	87	11	26	水	東部小	6
7	2	水	里町小	6	97	12	2	火	中部小	6
7	8	火	丈山小	6	96	12	10	水	高棚小	6
9	10	水	西部小	6		小学校児童数 計			932 人	
									参考（6年度）	1,861 人

b 市内中学校（企画・特別展、常設展、埋文セ）見学

月日	曜	学校名	学年	人数	月日	曜	学校名	学年	人数	
5	21	水	桜井中	2	234	11	25	火	明祥中	2
5	26	金	東山中	2	中止	11	27	木	安西中	2
									中学校生徒数 計	234 人
									参考（6年度）	1,293 人

c 市外小中学校(児童・生徒) (企画・特別展、常設展、埋文セ) 見学

月 日	曜	学 校 名	学年	人 数	月 日	曜	学 校 名	学年	人 数
		なし							
					市外小中学校児童生徒数 計				
					0				

(ク) 中高生の職場体験

学 校 名	収蔵庫 見学	土器 洗い	土器 作り	見学 学習 補助	事務 作業	学芸員 講 話	常設 展	その 他	備 考
安城・篠目中	○	○	○	○	○	○	○	○	3日間・4人
安城・桜井中	○	○	○	○	○	○	○	○	3日間・3人
安城・明祥中	○	○	○	○	○	○	○	○	3日間・1人
岡崎・翔南中	○	○	○	○	○	○	○	○	3日間・3人
知立・知立高	○	○	○		○	○	○	○	3日間・1人
中学生・高校生徒数 計									12人
参考(6年度)									16人

(コ) 博物館実習

博物館学芸員養成講座を持つ大学からの要請により実習を行った。

a 期 間：7月30日(水)～8月1日(金)、5日(火)～7日(木) (6日間)

b 実習生 愛知県立大学1人、中部大学2人、愛知学院大学1人、同朋大学1人
愛知淑徳大学1人、立命館大学1人、静岡大学1人 計8人

c 実習日程

開催日	午 前	午 後
7月30日	博物館業務(講義) 博物館見学	博物館と学校教育(講義) 文化財保護行政(講義) 芸術文化行政(講義) 埋文センター・市民ギャラリー見学
31日	歴史資料の取り扱い	歴史資料の取扱い 企画展示の流れ(講義)
8月1日	常設展示室の展示替え	博物館業務(講義) 美術資料の取扱い
5日	民俗資料の取扱い	民俗資料の取扱い 常設展示室の展示替え
6日	考古資料の取扱い	考古資料の取扱い 常設展示室の展示替え
7日	常設展示室の展示替え	展示替えプレゼンテーション 常設展示室の展示替え

(カ) 出前授業等

月 日	演題	対象	講師	参加人数
5月15日	企画展 「日本デンマーク」	安祥公民館高齢者教室	本部	65
6月14日	三河真宗と安城	桜井和祥会	千田	34
6月25日	日本デンマークと安城の 発展	二本木町内会コミュニ カフェ	本部	18

合計 117 人

エ 地域連携活動

(ア) 博物館ボランティア ※8月31日までの参加者数

開催日	活動内容	ボランティアガイド延人数	参加人数
4月15日～6月8日 (延3日)	一般向け常設展示解説	5	37
4月13日～8月24日 (延10日)	常設展ガイド(第2・4 日曜日)	31	100
5月21日～7月10日 (延10日)	見学学習対応	44	932
4月26日～7月24日 (延9日)	イベント対応	34	510

合計 115 人 1, 579 人

(イ) 体験用民具の貸出(1件)

貸出期間	貸出先	貸出資料	点数
8月15日～17日	安城市役所行政課	木銃、奉公袋など	4

(2) 令和7年度下半期事業計画案

ア 展示活動

(ア) 特別展「白山信仰と三河三白山」

a 会 期 令和7年11月22日(土)～令和8年1月18日(日)

※休館日：毎週月曜日、年末年始、ただし1月12日(月)は開館
実開館日数45日

b 主 催 安城市歴史博物館

c 趣 旨

安城市内に所在する大岡白山神社(市内大岡町)、白山媛神社(市内上条町)、桜井神社(市内桜井町)は、三社を総称して「三河三白山」と呼ばれ、白山神を祀る神社として地域の信仰を集めてきた。三社には徳川家康や幕府より朱印地を与えられるなどの由緒が伝えられている。

三社に共通する白山信仰は、石川県・福井県・岐阜県の三県にまたがる白山を神体としたものである。雪を被った姿が印象的な白山は、古来より周辺の人々の信仰を集めており、養老元年(717)には越前の僧侶泰澄が白山に登頂したことで修行の場としても開かれるようになった。白山山頂への登山道(禪定道)は加賀国・越前国・美濃国それぞれより開かれ、各地にその拠点となる馬場が発展した。加賀には白山本宮(石川県白山市)、越前には平泉寺(福井県勝山市)、美濃には長瀧寺(岐阜県郡上市)が成立し、多くの塔頭寺院を抱えるなど各地で大きな勢力を誇った。江戸時代になると平泉寺に白山の実権が集約されていった一方で、美濃・越前の両馬場は参詣客で大きな賑わいを見せた。

三河においても、白山信仰がさかんに行われていたことが推察される。中世には美濃の白山御師たちが三河に檀那場を持ち、白山先達として当地の人々を白山へ誘っていた。白山先達を巡っては、桜井寺(岡崎市)と財賀寺(豊川市)がその権利を巡って激しく争い、家康の裁定を受けている。また家康自身も白山牛王印をあしらった起請文を発給し、岡崎城内に白山社を勧請するなど白山信仰との関わりがみられる。また江戸時代には、民衆の間で白山・立山・富士を含めた三山をめぐる三禪定が見られるようになるのも三河の白山信仰の特色といえる。

本展では各地に残る白山史料の関連史料をもとに、白山信仰と三河三白山の由緒について紹介する。

d 観 覧 料 500円 中学生以下無料

e 展示構成

第1章 白山開山

第2章 白山信仰の広がり

(1) 加賀馬場 (2) 越前馬場 (3) 美濃馬場

第三章 三河と白山信仰

(1) 三河の白山信仰 (2) 三河三白山

f 印刷物 ポスター、チラシ、観覧券、図録（A4判、約80ページ）

g 関連行事 *指定管理者事業を除く

(a) 特別展記念講演会

・11月29日（土）「尾張国・三河国と三禅定」

講師：福江 充氏（北陸大学教授）

・令和8年1月10日（土）

「泰澄和尚と白山信仰」

講師：堀 大介氏（佛教大学教授）

(b) 歴博講座

・12月13日（土）「三河と白山信仰をめぐる諸相」

講師：千田 佑香（本館学芸員）

(イ) 企画展「村中安全—江戸時代の村と人々の営み—」

a 会 期 令和8年2月7日（土）～3月22日（日） 実日数39日

※休館日：毎週月曜日、ただし2月23日は開館

b 主 催 安城市歴史博物館

c 趣 旨

江戸時代の村は、領主により支配されていました。大名が治める藩がない安城市域は一領主の支配ではなく、岡崎藩領や刈谷藩領などの大名や旗本、寺社が部分的に領地を持つ地域でした。また一つの村の中でも複数の領主が支配することを相給村がいくつもありました。

支配された村は村人によって年貢を納めるだけではなく、用水の管理や治安や防災などを自主的に行っていました。同じく村同士で村境・土地の争い、川や池の水で争いがあれば、自分たちで幕府に訴えました。村の中ではケンカや泥棒、心中や駆け落ち事件など起こるたびに村中で解決していきました。村人の願いは自分たちが安全に暮らしていくことが一番でしたが、災害ややはり病、幕府や領主からのお達しなど絶えず難題は村に降りそそぎました。

そんな中、村人たちはいかにして生き抜いてきたのか。今回の展示では、これまであまり注目されなかった江戸時代の村や、村人の暮らしぶりを古文書や絵図、民具を通して紹介していきます。

d 観 覧 料 無料

e 出 版 物 ポスター、チラシ、観覧券

f 関連事業 *指定管理者事業を除く

(a) 歴博講座

・2月14日（土）「古文書から見る江戸時代の安城の村々」

講師：三島一信（本館学芸員）

(b) 展示解説（仮） 2月8日（日）、3月14日（土）

イ その他

※下半期催し物案内参照

(3) 令和8年度事業計画案

令和8年度展覧会

種別	テーマ	期 間
企画展	石川丈山 (仮)	4月～6月
特別展	※企画協力展 (仮)	7月～8月
特別展	安城ゆかりの大名－内藤家－ (仮)	9月～11月
特別展	縄文から古墳の墓 (仮)	11月～1月
企画展	収蔵品展 (仮)	2月～3月